

ViewLink CATx

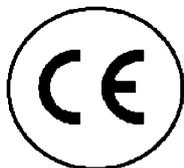
KVM エクステンダ

設置・操作マニュアル



IC 基準、EC 適合宣言

**EUROPEAN UNION DECLARATION OF CONFORMITY
ACCORDING TO COUNCIL DIRECTIVE 89/336EEC & 73/23EEC**



本装置は、European EMC Directive 89/336/EEC
の規定に準拠します。

目次

クイックスタートガイド.....	1
クイックスタートガイド.....	1
はじめに.....	2
免責事項.....	2
システムの紹介.....	2
主な機能.....	3
パッケージ内容.....	3
Rose Electronics web サイト.....	3
本マニュアルについて.....	3
モデル.....	4
各種モデル.....	4
設 置.....	5
操 作.....	6
キーボードコマンド - 国コード.....	7
トラブルシューティング.....	8
トラブルシューティング.....	8
サービス及びサポート.....	9
保守および修理.....	9
テクニカルサポート.....	9
安全事項.....	10
安全事項.....	10
付 録.....	11
付録 A- パーツ番号 (P/N).....	11
付録 B- 仕様.....	12
図	
図 1 クイック設置図.....	1
図 2 各種モデル.....	4
図 3 モニタマウントブラケット.....	5

クイックスタートガイド

クイックスタートガイド

ViewLink システムは、PC またはサーバのモニタ、キーボード、マウスポート、あるいは KVM スイッチに接続するトランスミッタユニット、およびキーボード、モニタ、マウスに接続するレシーバユニットにより構成されます。トランスミッタおよびレシーバユニットは、標準の CATx ケーブル最長 300m によって接続され、これらユニットには PS/2、USB、または PS/2-USB システム用のモデルがあります。このセクションでは、設置手順について簡単に説明します。ViewLink Catx の設置については、次の手順および図を参照してください。

- ステップ#1 - レシーバユニットに、KVM ステーションのキーボード、モニタ、マウス各ケーブルを接続します。付属の電源アダプタを、レシーバユニットの電源入力ジャックに接続します。
- ステップ#2 - トランスミッタユニットを、PC のキーボード、モニタ、マウス各ポートに接続します。使用する ViewLink Catx モデルに応じて、PS/2（ミニ Din6）または USB ポートのいずれかにトランスミッタユニットを接続します。DB25 モデルを使用して KVM スイッチを接続する場合は、スイッチの KVM ポートに接続します。
- ステップ#3 - レシーバおよびトランスミッタユニットを、最長 300m の CATx ケーブル（CAT5、5e または 6）を使用して接続します。
- ステップ#4 - KVM も似た、レシーバユニットの電源を入れて、PC を起動します（DB25 モデルを使用する場合は KVM スイッチの電源を入れます）。

エクステンダを初期化すると、トランスミッタとレシーバユニットを接続しているケーブル長の検出、および補正調整などの設定を自動的に実行します。詳しくは、マニュアル（手動）操作説明を参照してください。

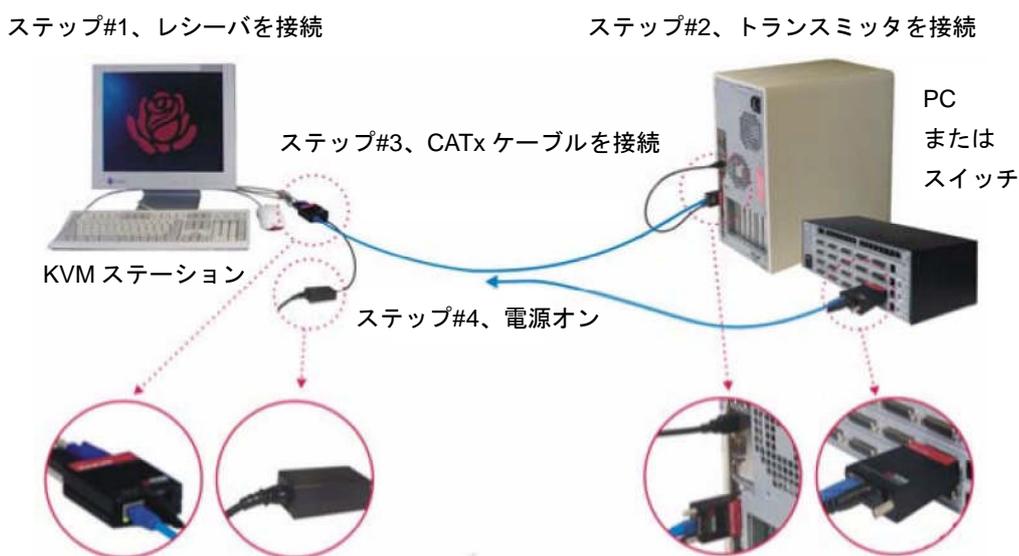


図1 クイック設置図

はじめに

免責事項

本マニュアルは、あらゆる注意を払って準備されていますが、製造者は本書内容の誤りまたは欠落の責任を負わないものとします。製造者は、本マニュアルに含まれる情報を使用した結果生じた損害についても、その責任を負うものではありません。製造者は、製品の仕様、機能、回路構成を予告なく変更する権利を留保します。

製造者は、本製品の誤用により生じた損害、または製造者が管理可能な範囲外の状況により生じた損害について、その責任を負わないものとします。製造者は、本製品の使用により直接または間接的に生じた損失、損害、傷害について、その責任を負うものではありません。

システムの紹介

Rose Electronics ViewLink CATx KVM エクステンダをお買いあげいただき、ありがとうございます。ViewLink CATx は、現代の要件の厳しい業務環境のニーズを満たすために、Rose Electronics が取り組んできた最先端のスイッチングソリューション開発から生まれた製品です。ViewLink CATx は、遠隔地からコンピュータ、サーバ、または KVM スイッチにアクセスする必要がある、あらゆる規模およびタイプの業務環境で、高い機能性を発揮する製品です。ViewLink CATx を使ってコンピュータにリモートアクセスするシステムには、ユーザにとって利便性の高い各種の用途が考えられます。コンピュータを安全な場所において、安全性の低い場所からそれらのコンピュータにアクセスできます。また、危険な生産現場で使用されるコンピュータにリモートアクセスすることで、ユーザを危険な現場から離して作業の安全性を高めることができます。

ViewLink CATx には、トランスミッタユニットおよびレシーバユニットが含まれます。トランスミッタは、コンピュータまたは KVM スイッチに接続し、レシーバユニットはリモートのキーボード、ビデオモニター、マウスに接続します。トランスミッタおよびレシーバの両ユニットは、RJ45M コネクタをともなう標準的な CAT5、CAT5e または CAT6 シールドまたはシールドなしツイストペアケーブルを使って接続します。全モデルとも、CPU から最長 300m の延長が可能です。アプリケーションの実行、コンピュータの保守およびあらゆる機能が通常と同じように作動し、モニター映像もほぼ劣化なく表示できます。

ViewLink CATx は、システムのトポロジに応じて各種パラメータおよび機能を自動的に設定するので、システムは数分で設置できます。ジャンパ設定、または回転ノブ調整による設定はありません。ビデオゲインなどのパラメータは自動的に補正され、CATx ケーブルの長さに応じて正しく調整されます。キーボードコマンドを使用して容易に微調整が可能です。通常は必要ありません。

必要なケーブルは、トランスミッタおよびレシーバを接続する CATx ケーブルのみです。CATx ケーブルは、25 から 1000 フィートの長さで Rose Electronics にご注文いただけます。

主な機能

- ViewLink CATx モデルには、PS/2 キーボードおよびマウスポート付きコンピュータ用、USB キーボードおよびマウスポート付きコンピュータ用、または DB25F KVM ポート付き KVM スイッチ用の各種があります。
- シングル CATx ケーブルを使用して、CPU から KVM ステーションを延長します。
- モニタ解像度 : 1600 x 1200 (最長 200 フィート、60m)
 1280 x 1024 (最長 300 フィート、90m)
 1024 x 768 (最長 1000 フィート、300m)
- ViewLink CATx は、マイクロプロセッサを使いキーボードおよびマウスをエミュレートしてプラグアンドプレイ操作に対応します。レシーバユニット上のキーボードおよびマウスは、コンピュータに接続することなく、トランスミッタユニットがコンピュータに接続されていればコンピュータを起動できます。
- ServeView Pro、UltraView Pro、UltraMatrix などの Rose Electronics KVM スイッチ製品ファミリーと互換性があります。
- オペレーティングシステムに依存しません。
- 各 RJ45M コネクタに対応する LED ステータスインジケータを装備。
- あらゆる設定およびモニタ調整は、自動的に行います。ユーザによる設定が必要なく、レシーバの KVM モニタで鮮明な映像を得られます。(キーボードコマンドによる手動調整も可能です)

パッケージ内容

パッケージ内容には、次が含まれます。

- 注文に応じた ViewLink CATx トランスミッタおよびレシーバユニット
- レシーバユニット用電源アダプタ
- 設置および操作マニュアル

CATx および他のケーブルは、通常は別途注文となります。パッケージ内容に誤りがある場合は、Rose Electronics またはご購入の販売店までお問い合わせください。お客様の問い合わせに、迅速に対応いたします。

Rose Electronics web サイト

ViewLink CATx、およびデータセンターや学校教室用途向けの他製品に関する詳細については、当社 Web サイト、www.rose.com をご覧ください。

本マニュアルについて

本マニュアルでは、ViewLink CATx モデルの設置および操作について説明します。

モデル

各種モデル

	トランスミッタ	レシーバ
PS/2		
DB25		
USB		

PS/2 ケーブル 2 本および USB ケーブル 1 本付きトランスミッタもあります



PC モデルは、直接 PC のキーボード、モニター、マウスポートに接続します。



DB25 モデルは、直接 KVM スイッチの KVM ポートに接続します。

図 2 各種モデル

ViewLink CATx の基本構成を設置するために必要なケーブルは、トランスミッタおよびレシーバユニットを接続する CATx ケーブルのみです。CATx ケーブルは、慎重に取り回しを行ってください。ケーブルを機械装置または電気機器の近くに配線しないでください。電気機械からの放射は、モニター映像の画質を低下させる干渉の原因となります。

設 置

ViewLink CATx は、非常に簡単なプラグアンドプレイにより設置できます。PC、PS/2 および USB モデルでは、トランスミッタの HD15M コネクタを、PC の HD15F モニタ出力コネクタに接続します。PS/2 または USB のキーボードおよびマウスケーブルを、PC の対応するコネクタに接続します。KVM ステーションで使用するキーボード、モニター、マウスケーブルに、直接レシーバを接続します。電源アダプタを、レシーバユニットの電源ポートに接続します。トランスミッタの RJ45 コネクタとレシーバの RJ45 コネクタを、最長 300m の CATx ケーブルを使って接続すれば完了です。

フラットパネルモニターを使用するお客様向けに、Rose Electronics はユニバーサルマウントブラケットを開発しました。このブラケットは、レシーバユニットに取り付けて、フラットパネルモニター後部に固定できます。ブラケット使用例は次の図を参照してください。ブラケットは、縦（図中）または水平に取り付けることができます。

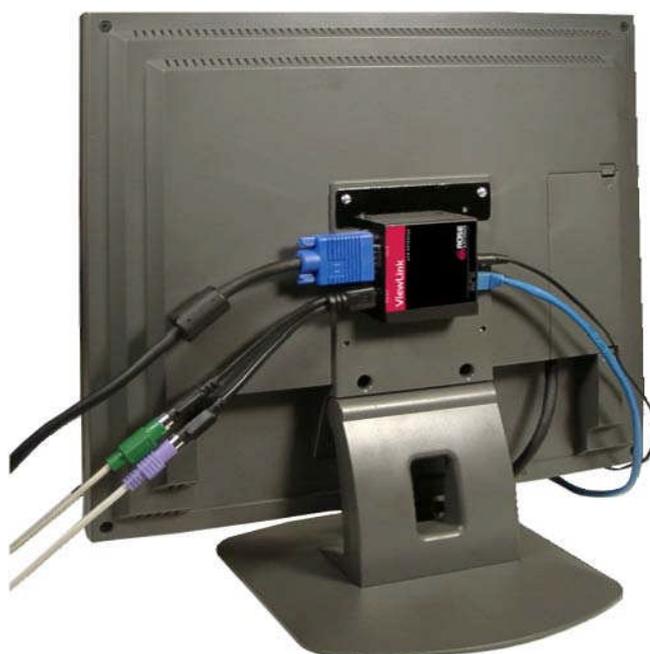


図 3 モニタマウントブラケット

スイッチ DB25 モデルの場合、トランスミッタの DB25M コネクタを KVM スイッチの DB25F KVM 入力コネクタに接続します。レシーバを、KVM ステーションで使用するキーボード、モニター、マウスケーブルに接続します。電源アダプタを、レシーバユニットの電源ポートに接続します。トランスミッタの RJ45 コネクタとレシーバの RJ45 コネクタを、最長 300m の CATx ケーブルを使って接続すれば完了です。

注： 使用するモニター解像度に応じて、接続距離は変わります。

ユーザによる調整は必要ありません。ViewLink CATx は、トランスミッタおよびレシーバ間の CATx ケーブル長を自動的に判別して、算出したケーブル長に応じて補正するようにゲインを自動調整します。必要に応じて、キーボードコマンドを使用してビデオゲインおよびイコライゼーションの微調整を行えます。

レシーバユニット、KVM モニターの電源を入れて、PC を起動します。レシーバユニットに接続されているモニターが、起動時の画面を鮮明に表示します。

操作

システムの操作は、直接 PC または KVM スイッチにキーボード、モニタ、マウスを接続している場合と、何ら変わりありません。唯一の違いは、キーボード、モニタ、マウスが PC から最長 300m 離れた場所にあることです。システムは、プログラムの実行、コンピュータの保守、その他通常使用する機能を通常と同様に実行でき、モニタの映像も劣化はありません。

キーボードコマンド

コマンド	内容
左 Ctrl、左 Shift、e:	ケーブル長測定を実行します。
左 Ctrl、左 Shift、キーボード+:	ビデオゲインを 1 増します。
左 Ctrl、左 Shift、キーボード-:	ビデオゲインを 1 減らします。
左 Ctrl、左 Shift、キーパッド+:	ビデオイコライゼーションを 1 増します。
左 Ctrl、左 Shift、キーパッド-:	ビデオイコライゼーションを 1 減らします。
左 Ctrl、左 Shift、k:	変更を保存します。
左 Ctrl、左 Shift、i* (下記*を参照)	トランスミッタ、CPLD、レシーバのファームウェアバージョンを、ユニットが接続されている CPU 上のテキストエディタに送信します。ファームウェアは次のようにレポートされます。 トランスミッタ=hxxy、CPLD=yx、レシーバ=dhxy、ここで示される x は 10 進数、y はアルファベット文字を表します。
左 Ctrl、左 Shift、g* (下記*を参照)	直近のゲイン、イコライゼーション、ケーブル長、autotdr ステータス、赤、緑、青スキュー値をテキストエディタに送信します。

*注意：テキストエディタが稼働していない状態でこれらのコマンドを実行しないでください。これらのキーボードコマンドを実行する前に、必ずメモ帳 (notepad) などのテキストエディタを起動して選択しておきます。

キーボードコマンド - 国コード

次の国コード表により、使用するキーボードおよびオペレーティングシステムの国コードを入力できます。この機能は、使用するオペレーティングシステムが特定の国（言語）向けで、オペレーティングシステム特有のキーボードマップを入力しなければならない場合のみ必要となります。日本向け Sun キーボードなどこの機能を必要とするキーボードでは、国コードを必ず入力します。

国コードを入力するには、次のキー操作を入力します。

左 Ctrl、左 Shift、l、x、Enter、(大文字でない L、x)

左 Ctrl、左 Shift、l、x、y、Enter

ここでは x および y はキーボードの数字キーを表します。

国コード番号が 1 桁の数字 (0~9) の場合は、数字 1 桁（または 06 のように 2 桁）を入力して、Enter を押します。国コードが 2 桁 (10~35) の場合は、その 2 桁を入力して Enter を押します。各キー操作は押して放し、キーからキーへの操作は必ず 2 秒以内の間隔で行います。2 秒以上経過すると、コマンドが中止されます。コマンドは 1 回のみ入力が必要です。ServSwitch? ブランドの Mini CAT5 KVM エクステンダは、値をフラッシュメモリに保存します。入力した値は、ユニットが新しいコードと入れ替わるまで変更されません。

コード	国（言語）	コード	国（言語）
00	サポート外	18	オランダ
01	アラビア	19	ノルウェー
02	ベルギー	20	ペルシャ (Farsi)
03	カナダ N- バイリンガル圏	21	ポーランド
04	カナダ- フランス語圏	22	ポルトガル
05	チェコ共和国	23	ロシア
06	デンマーク	24	スロバキア
07	フィンランド	25	スペイン
08	フランス	26	スウェーデン
09	ドイツ	27	スイス/フランス語
10	ギリシャ	28	スイス/ドイツ語
11	ヘブライ語	29	スイス
12	ハンガリー	30	台湾
13	International (ISO)	31	トルコ- Q
14	イタリア	32	英国
15	日本 (カタカナ)	33	米国
16	韓国	34	ユーゴスラビア
17	南米	35	トルコ- F
		36~255	予備

トラブルシューティング

トラブルシューティング

トラブルシューティングセクションでは、ViewLink CATx の機能を理解するためのガイド、および一般的な問題解決を提供しています。ViewLink CATx の設置、操作、使用について、本マニュアルでは記載されていない問題、質問がある場合は、Rose Electronics のテクニカルサポートまでお問い合わせください。

- レシーバーモニタにビデオ映像が表示されない。
 - レシーバ、トランスミッタ、タッチパネル（利用可能な場合）の CATx ケーブル接続を点検します。
 - レシーバおよびトランスミッタの HD15 ビデオ接続を点検します。
- キーボードが機能しない。
 - キーボードおよびマウスケーブルが PC で逆になっていないか確かめます。
 - レシーバのキーボードケーブル接続を点検します。
- マウスの動作が不安定、または機能しない。
 - マウスおよびキーボードケーブルが PC で逆になっていないか確かめます。
 - レシーバのマウスケーブル接続を点検します。
- モニタ、キーボードまたはマウスが機能しない。
 - レシーバのケーブル接続をすべて点検します。
 - トランスミッタのケーブル接続をすべて点検します。
 - RJ45 コネクタ LED を点検します。緑および黄色 LED が交互に点滅する場合は、ファームウェアが壊れており、ユニットをフラッシュする必要があります。この状態は、フラッシュ手順の最中に電源が喪失したとき発生する場合があります。

サービス及びサポート

保守および修理

このユニット内部には、ユーザが修理可能なパーツは一切含まれていません。ユニットの修理または保守が必要な場合は、まず返品認証（RA）番号を Rose Electronics または認定修理センターから取得する必要があります。この返品認証番号は、返送時の梱包外装に必ず表示します。

詳しくは、Limited Warranty（制限付き保証）を参照してください。

ユニットの返送時に、オリジナルの容器または同等容器に二重梱包し、保険に加入して下記宛にお送りください。

Rose Electronics
Attn: RA _____
10707 Stancliff Road
Houston, Texas 77099 USA

テクニカルサポート

製品に問題が生じた場合、または Crystal View Plus の設置、設定、構成、操作についてサポートが必要な場合は、本マニュアルの該当する項を参照してください。さらに新たな情報またはサポートが必要とする場合は、下記の Rose Electronics テクニカルサポート部門窓口までお問い合わせください。

電話： (281) 933-7673
E-Mail： TechSupport@rose.com
Web： www.rose.com

テクニカルサポートの受付時間は、月曜から金曜、午前 8：00 から午後 6：00（米国中央標準時間）です。

本ユニットの機能における異常動作、または本マニュアル内容の矛盾点について、Rose Electronics テクニカルサポート部門までご連絡ください。

安全事項

安全事項

ViewLink CATx KVM エクステンダは、安全規制および安全条項を満たすようにテストされ、国際的な使用が認証されています。あらゆる電子機器と同様に、ViewLink CATx の使用には細心の注意が求められます。傷害事故を起こさないために、またユニット損傷の危険を最小限にするために、本項の安全指示をよく読んで従ってください。

- 本ユニットに貼付されているすべての指示および警告に従ってください。
- 本マニュアルで説明されている場合を除き、ユーザ自身がユニットの保守修理を行わないでください。
- ユニットの近くで水気の近くで使用しないでください。
- 適切な換気および空気循環がある環境で使用してください。
- 電源ケーブルおよび接続ケーブルを、損傷の原因となるような障害物から離してください。
- 本ユニット専用の電源ケーブルおよび接続ケーブルを使用してください。
- 接地付き（三つ又）電気コンセントを使用してください。
- ViewLink CATx に付属する電源アダプタのみを使用してください。
- ユニットの近くで、損傷の原因となる異物およびこぼれやすい液体から離してください。液体および異物は、電圧をとまなう部品と接触し火災または感電の原因となります。
- 本ユニットは、必ずカバーを取り付けた状態で使用してください。
- 液体クリーナーまたは噴霧クリーナーを使って本ユニットを清掃しないでください。本ユニットを清掃する前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 次の状況が生じたときは、本ユニットを電源コンセントから抜き認定サービスセンターに保守、修理を依頼してください。
 - 電源ケーブルまたは接続ケーブルが破損またはすり切れたとき。
 - ユニットの近くに液体が侵入したとき。
 - すべての操作手順に従っても、ユニットが正常に機能しないとき。
 - ユニットが落下またはケースが破損したとき。
 - ユニットの性能が明らかに変化して、修理保守の必要性が考えられるとき。

付 録

付録 A - パーツ番号 (P/N)

トランスミッタ P/N	内容
VLT-MVP	シングルアクセス、PS/2、VGA
VLT-MVU	シングルアクセス、USB、VGA
VLT-MVB	シングルアクセス、PS2 および USB、VGA
レシーバ P/N	内容
VLR-AVP	シングルアクセス、PS/2、VGA
VLR-AVU	シングルアクセス、USB、VGA
キット P/N	内容
VLK-TMVPRAVP	シングルアクセス、PS/2、VGA
VLK-TMVURAVU	シングルアクセス、USB、VGA
VLK-TMVBRAVP	シングルアクセス、PS/2 および USB から PS/2、VGA
VLK-TMVBRAVU	シングルアクセス、PS/2 および USB から USB 、VGA
-オプション付き=自動スキュー補正	
ケーブル	内容
CAB-08C5UTPnnn	CAT5 シールドなしツイストペア
CAB-08C6UTPnnn	CAT6 シールドなしツイストペア
CAB-08C5STPnnn	CAT5 シールドツイストペア
CAB-08C6STPnnn	CAT6 シールドツイストペア
CAB-ATRFnnn	DB9F - RJ45M フラッシュユーティリティケーブル

付録 B – 仕様

寸法	幅	奥行き	高さ
トランスミッタ (インチ/cm)	1.3 / 33	1.65 / 42	0.63 / 1.6
トランスミッタ* (インチ/cm)	2.17 / 5.5	2.52 / 6.4	0.72 / 1.8
レシーバ (インチ/cm)	2.2 / 56	2.56 / 65	0.83 / 21

ビデオ :

解像度 : 1600 x 1200 (200 フィート)
 1280 x 1024 (300 フィート)
 1024 x 768 (300 – 1000 フィート)

互換性 : SVGA、VGA、XGA、RGB
 0.7V p-p

レベル : セパレート/コンポジット TTL レベル

同期タイプ :

サポート : PS/2、USB

キーボード : VGA、SVGA、XGA、RGB

ビデオ : PS/2 2 ボタン

マウス : マイクロソフト互換マウス
 Logitech 互換マウス USB
 USB

コネクタ :

PS/2 モデル : ビデオ HD15F
 キーボード PS/2
 マウス PS/2

USB モデル : ビデオ HD15F
 キーボード USB タイプ A
 Mouse USB タイプ A

PS/2、USB 併用モデルには、PS/2 ケーブル 2 本、USB ケーブル 1 本がともないます。

相互接続 : CATx UTP/STP、EIA / (CAT5、5e、6) TIA 568

電源 : ローカル PC から給電 (オプションの電源アダプタ)
 リモート +5V 1.0A 外部

環境 : 温度 0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F)
 湿度 0% ~ 90%、結露なし

承認 : CE



〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-16-11
TEL: 03-3668-8089
FAX: 03-3668-9872
URL: <http://www.cybernetech.co.jp>